

# 令和7年度 学校評価アンケート結果比較考察

## 1. はじめに

本日はお忙しい中、学校運営協議会にご出席いただきありがとうございます。令和7年度の児童、保護者、教職員のアンケート結果がまとまりましたので、昨年度(令和6年度)との比較を通じ、本校の現状と今後の課題についてご報告いたします。数値の背後にある子どもたちの意識の変化を丁寧に読み解き、次年度の指針としたいと思います。

## 2. 各項目の比較考察

### 項目1: 学校生活の楽しさ

- 児童: 令和6年度 93% → 令和7年度 92%
- 保護者: 令和6年度 88% → 令和7年度 90%
- 教職員: 令和6年度 100% → 令和7年度 100%
- 考察: 児童の数値は昨年度に引き続き9割を超える極めて高い水準を維持しており、多くの子どもたちが充実した学校生活を送っています。保護者の評価が向上している点は、学校の教育活動がご家庭の安心感に繋がっている証左と言えます。今後も、一人ひとりが「居場所」を感じられる温かい学校づくりを推進してまいります。

### 項目2: 困った時の相談相手(A:親、B:先生、C:友達、D:いない)

- 児童(A+B:親・先生への信頼): 令和6年度 68% → 令和7年度 70%
- 保護者(A+B:親・先生への信頼): 令和6年度 94% → 令和7年度 88%
- 教職員(A+B:教職員への相談): 令和6年度 100% → 令和7年度 100%
- 考察: 児童において、身近な大人である親や先生に相談できると答えた割合が向上しました。保護者の評価は88%と高い水準にありますが、昨年度の94%と比較すると、より細やかな連携を求める声と受け止めることができます。担任以外の教職員やスクールカウンセラーも含め、いつでも誰にでも相談できる多層的な体制をより一層周知してまいります。

### 項目3: 話を聞く姿勢

- 児童: 令和6年度 95% → 令和7年度 92%
- 保護者: 令和6年度 92% → 令和7年度 90%
- 教職員: 令和6年度 93% → 令和7年度 94%

## 項目 7: 時間を守る(チャイムの合図)

- 児童:令和6年度 89% → 令和7年度 91%
- 保護者:令和6年度 73% → 令和7年度 79%
- 教職員:令和6年度 86% → 令和7年度 88%
- 考察:すべての指標で数値が向上しており、学校全体で時間を意識した主体的な行動が定着しました。見通しを持って行動する習慣は、学習の集中力向上にもポジティブな影響を与えていると考えられます。今後もこの良き習慣を継続し、落ち着いた学校環境を維持していきます。

## 項目 8: 交通ルールの遵守

- 児童:令和6年度 98% → 令和7年度 99%
- 保護者:令和6年度 96% → 令和7年度 96%
- 教職員:令和6年度 93% → 令和7年度 94%
- 考察:100%に近い極めて高い数値を維持しており、安全に対する高い意識が定着しています。地域の方々の長年の見守り活動が、子どもたちの心に深く根付いていることの結果と言えます。特に放課後や休日の安全についても、この高い意識を維持できるよう、地域と連携した啓発を続けてまいります。

## 項目 9: 防災意識

- 児童:令和6年度 99% → 令和7年度 96%
- 保護者:令和6年度 81% → 令和7年度 79%
- 教職員:令和6年度 100% → 令和7年度 100%
- 考察:教職員全員が万全の体制を意識する中、児童も96%という非常に高い数値を維持しています。保護者の評価が約8割である点は、家庭での防災会議をさらに進める伸びしろと捉えることができます。「自分の身は自分で守る」という主体的な防災教育を、学校・家庭・地域の三位一体で深めていく必要があります。

## 項目 10: 規則正しい生活(早寝・早起き・朝ご飯)

- 児童:令和6年度 86% → 令和7年度 83%
- 保護者:令和6年度 79% → 令和7年度 86%
- 教職員:令和6年度 86% → 令和7年度 94%
- 考察:保護者と教職員の評価が大幅に向上しており、大人の中から見て生活リズムの改善がはっきりと見られます。児童の自己評価が83%を維持している点は、自らの生活習慣に対してより高い意識(理想)を持ち始めた証拠と言えます。高学年を中心に、メディア利用との付き合い方を考え、健康な体づくりを今後も支援してまいります。

## 項目 15: 読書習慣

- 児童: 令和 6 年度 59% → 令和 7 年度 68%
- 保護者: 令和 6 年度 37% → 令和 7 年度 45%
- 教職員: 令和 6 年度 50% → 令和 7 年度 50%
- 考察: 本校の課題として継続的に取り組んできた結果、児童(+9 ポイント)と保護者(+8 ポイント)の数値が着実に向上しました。地道な読み聞かせや図書環境の整備が、子どもたちの生活の中に浸透し始めています。今後は「量」だけでなく、自分の興味を深め、思考を豊かにする「質の高い読書」へのステップアップを応援します。

## 項目 16: 健康・体力の増進

- 児童: 令和 6 年度 95% → 令和 7 年度 97%
- 保護者: 令和 6 年度 93% → 令和 7 年度 92%
- 教職員: 令和 6 年度 100% → 令和 7 年度 100%
- 考察: 教職員全員が情熱を持って指導にあたっており、児童・保護者も 9 割を超える高い満足度を示しています。数値の安定は、体育の授業や外遊びの充実が図られている証拠です。今後も運動すること自体の楽しさを実感させ、生涯にわたって健康を維持しようとする主体的な態度を育ててまいります。

## 項目 17: 児童の長所や努力の承認

- 保護者: 令和 6 年度 85% → 令和 7 年度 93%
- 教職員: 令和 6 年度 100% → 令和 7 年度 100%
- 考察: 保護者の評価が 93%へと大幅に向上しており、学校での励ましが子どもの前向きな変化として家庭に届いています。教職員の「認めて伸ばす」という強い信念が、学校全体の教育力として結実しました。今後は、より具体的な「褒めポイント」をご家庭とリアルタイムで共有し、自己肯定感を双方向で高める工夫を継続します。

## 項目 18: 児童の安全の確保について

- 児童: 令和 6 年度 96% → 令和 7 年度 93%
- 保護者: 令和 6 年度 98% → 令和 7 年度 98%
- 教職員: 令和 6 年度 100% → 令和 7 年度 100%

考察: 教職員の意識、保護者の信頼ともに極めて高い水準を維持しており、学校の安全管理体制への評価は揺るぎないものとなっています。児童の数値が 3 ポイント微減しましたが、依然として 9 割以上が安全を実感しています。今後は、施設面の安全(ハード)に加え、いじめの未然防止や心のケアといった心理的な安全(ソフト)の両面から、全児童が「100%安心」と言える環境づくりを継続します。

## 項目 22:働き方改革について

- 教職員:令和6年度 100% → 令和7年度 100%

考察: 2年連続で全教職員が肯定的評価をしており、本校の働き方改革への意識は非常に高く定着しています。特に今年度は「A(しっかりと取り組んでいる)」が56%と過半数を超えており、具体的な業務改善の実感が伴っていることが分かります。教職員が心身ともに健康で、子どもたちと向き合う時間を十分に確保することが、教育の質のさらなる向上に直結するという共通認識のもと、今後も持続可能な体制を維持します。

---

## 3. まとめと今後の展望

令和7年度の結果を振り返ると、「あいさつ」や「読書習慣」のように、これまで課題としてきた項目に顕著な改善が見られました。これは学校・家庭・地域の連携による大きな成果であり、本校の教育の方向性が間違っていないことを示しています。

一方で、「授業中の発表」に対する児童の自己評価や、「相談相手」に関する保護者の評価など、高い水準の中にも私たちがさらに工夫できるヒントが隠されています。これらのデータは決してマイナスではなく、子どもたちがさらなる高みを目指している証であり、本校の伸びしろそのものです。

本年度は、児童がより自信を持って学習活動に取り組めるよう支援を強化するとともに、保護者の皆様との対話を一層重視してまいります。学校運営協議会委員の皆様と一緒に、このデータを「より良い明日」への羅針盤として活用し、一歩ずつ進んでいければ幸いです。引き続き、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。